

The World's No.1 Stairway Evacuation Chair

世界30ヶ国 国内販売15年の実績・シェアNo.1

世界30ヶ国
国内販売15年の実績
シェア
No.1

EVAC+CHAIR®

階段避難車 MK4-JP



EVAC+CHAIR



- 3.11東日本大震災でも多くの場面で活躍
- 女性1人でもらくらく簡単操作
- モータ・エンジンなどの動力・電力不使用
- 最大荷重：182kg

KOHKEN
コーケンメディカル株式会社

「いざ」というときに確実に使える!

EVAC+CHAIR®

階段避難車 MK4-JP

“EVAC+CHAIR®”は世界に先駆けて英国Evac+Chair International Ltd.が開発・実用化した階段避難車です。地震や火災などでエレベーターが使用できない災害時・非常時に、要介護者やケガをされた方など歩行困難な方を上層階から階段を使用して、安全・円滑・迅速に避難させることができます。軽量、強固なアルミ合金フレームで、モーター・エンジンなどの動力は一切使用しておらず、1人の操作者で182kgの方まで避難させることができます。

簡単操作

女性の方も操作は簡単

収納状態から要早く開いてイスにし、対象者を乗せて腰部を固定します。「いざ」という時でも、機械的な操作はほとんどなく、軽量のため、女性でも操作は簡単です。



Easy

簡単操作

安心

腹部と頭部の固定で安心

腹部と頭部の固定ができるので、意識のない方や拘束の必要な方にも安心して使えます。



Secured

安心

スムーズ・迅速

狭い踊り場の取りまわしも簡単

“EVAC+CHAIR”なら前輪を軸にその場で回転もスムーズに行なえるため、狭い踊り場でも容易に操作ができます。



Smooth

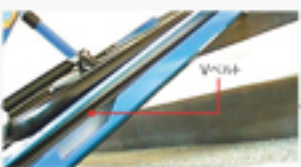
スムーズ・迅速

安全

当社専門スタッフによるメンテナンス体制も万全

「いざ」というときに安心して使って頂けるよう2年ごとのVベルト交換[※]を推奨しています(有償)。

※Vベルトは使用、保管状況により、摩耗や経年劣化が考えられるため、本体の点検およびVベルト交換一式を交換します。詳しくは担当営業にお尋ねください。



Safe

安全



快適

滑らかな乗り心地で 健康者と同じ速度で避難できる

操作者が歩くスピードから小走りでも降りることができ、本体下に取り付けられたスキー一部に専用Vベルトが装着されており、このVベルトが階段の角2~3段に接地しながら階段を降ります。乗車者の重みでVベルトが階段の角に押し付けられるため摩擦抵抗が生じ、速度なブレーキが掛かるように設計されており、不慣れな方でも安心して走行できます。平坦なフロアでの状態 階段での状態



軽量

持ち運びもラクラク

最大重量が182kgもありながら、本体質量は約9.5kgと軽量です。男性はもちろん、女性でも容易に持ち運びができます。

9.11 奇跡の生還者

ジョン・アブルツツオ氏

ワールドトレードセンターのタワー1から、奇跡的に生還を果たした方の一人、ジョン・アブルツツオ氏。彼は、他の10名の同僚と一緒に、狭い階段を使用し脱出に成功しました。

2001年9月11日当日、彼は港湾事務所副会計士として69階で働いていました。一層目の飛行機がタワーに突っ込んだ際、彼も他の人々と共に階段に向かいました。しかし、彼はCS-6の四肢麻痺の障害者で、電動車椅子が手放せない状態。そこから脱出することは、他の大勢の人々よりはるかに困難な状態でした。その状況の中、ジョンは同僚らと共に脱出することに何の戸惑いもありませんでした。なぜなら、当時すでにワールドトレードセンターには、災害弱者のために100台程のEVAC+CHAIR®という特別な脱出装置が設置されていたからです。同僚らはこのEVAC+CHAIR®にジョンを乗せ、踊り場でリリーしながら66階もの薄暗い中を1時間半程で全員無事脱出することができました。後日彼は「タワー1が崩れる15分前に脱出できたことに驚きを感じなかった」と語ったそうです。



災害からすべての人々を救う防災対策整備のひとつとして “イーバック+チェア”の導入をお勧めします



EVAC+CHAIR

さまざまなシーンで
“EVAC+CHAIR®”は
使われています



Hospital

全国各地の病院では…

“EVAC+CHAIR”は女性でも簡単に操作ができるため、病院でも多数採用され、ナースステーションなどに配備されています。全国各地の基幹病院・災害拠点病院を始め、様々な病院に設置して頂いています。



Mansion
Apartment

集合住宅などでは…

避難器具や防災備品は1階に設置していることが多いのではないのでしょうか。でも“EVAC+CHAIR”なら大丈夫! 軽量、コンパクトなので女性でも持ち運びます。



Fire department

全国各地の消防署では…

救急車に搭載し、階段やエレベーターを使用する救急現場から患者さんや乗せ、車内への搬送用として日常業務で使われています。



Office
Municipality
Public facility

各企業や自治体、
公共施設では…

BCPの一環として、身障者の方のために、またケガをされた方、突然の病気などで歩行困難な方のためにも“EVAC+CHAIR”を導入して頂いています。